福島第一原子力発電所　プラント関連パラメータ

2026年10月31日 11:00現在

2026年10月31日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系：　0.0　㎥/h CS系：　1.4　㎥/h	給水系：　1.5　㎥/h CS系：　0.0　㎥/h	給水系：　1.4　㎥/h CS系：　1.3　㎥/h	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD （TE-263-69L1）：　27.9　℃ 原子炉 SKIRT JOINT 上部 （TE-263-69H1）：　23.1　℃ VESSEL DOWN COMMER （TE-263-69G2）：　28.0　℃	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD （TE-2-3-69H3）：　32.1　℃ ＲＰＶ温度 （TE-2-3-69R）：　33.0　℃	スカートジャンクション上部温度 （TE-2-3-69F1）：　28.9　℃ RPV底部ヘッド上部温度 （TE-2-3-69H1）：　28.5　℃	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR （TE-1625A）：　27.9　℃ HVH-12A SUPPLY AIR （TE-1625F）：　27.8　℃	RETURN AIR DRYWELL COOLER （TE-16-114B）：　32.6　℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B （TE-16-114G#1）：32.4　℃	ＰＣＶ温度 （TE-16-002）：　-　℃　※6 格納容器空調機供給空気温度 （TE-16-114F#1）：　28.0　℃	－
原子炉格納容器圧力	0.02　kPa g	2.70　kPa g	0.55　kPa g	
窒素封入流量 ※3	RPV（RVH-A）：　-　Nm³/h （RVH-B）：　19.00　Nm³/h （JP-A）：　15.42　Nm³/h （JP-B）：　-　Nm³/h PCV：　-　Nm³/h　※4	RPV-A：　7.23　Nm³/h RPV-B：　7.32　Nm³/h PCV：　-　Nm³/h　※4	RPV-A：　7.14　Nm³/h RPV-B：　7.12　Nm³/h PCV：　6.19　Nm³/h	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	15.8　㎥/h	19.39　Nm³/h	16.84　Nm³/h	
原子炉格納容器水素濃度　※1	A系：　0.00　vol% B系：　0.00　vol%	A系：　0.00　vol% B系：　0.01　vol%	A系：　0.06　vol% B系：　0.06　vol%	
原子炉格納容器放射能濃度(Xe135)　※2	A系：指示値　8.24E-04　Bq/㎤ 検出限界値　4.35E-04　Bq/㎤ B系：指示値　1.29E-03　Bq/㎤ 検出限界値　3.61E-04　Bq/㎤	A系：指示値　ND　Bq/㎤ 検出限界値　1.1E-01　Bq/㎤ B系：指示値　ND　Bq/㎤ 検出限界値　1.1E-01　Bq/㎤	A系：指示値　ND　Bq/㎤ 検出限界値　1.8E-01　Bq/㎤ B系：指示値　ND　Bq/㎤ 検出限界値　1.7E-01　Bq/㎤	
使用済燃料プール水温度	23.2　℃	21.5　℃	-　※5	-　※5
FPC ｽｷﾏｻｰｼﾞ ﾀﾝｸ水位	2.17　m	4.00　m	-　m　※6	67.6　×100mm

【計測値に関する情報】
※1：指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。（水素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため）
　　原子炉格納容器ガス管理システムの水素濃度値を記載する。
※2：指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度値（Xe１３５）を記載する。
※3：使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する。
※4：窒素封入停止中
※5：全燃料取り出し完了につき監視対象外
※6：作業に伴いデータ欠測

【留意事項】
各計測器については、地震やその後の事象進展の影響を受けて、通常の使用環境条件を超えているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状況を把握するために、このような計器の不確かさも考慮したうえで、複数の計測器から得られる情報を使用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。